

防 災

ポケットマニュアル

長崎大学工学部・
大学院工学研究科
(平成31年4月発行)

目 次

火災発生時	3
地震発生時	5
ガス漏れ時	6
負傷者が出た時	7
毒劇物紛失時	8
大学付近の医療機関等	9

火災発生時

1. 「火事だ」と大声で周囲の人たちに知らせる。
2. 廊下にある火災報知器のボタンを押す。
3. 火災の場所と状況を消防署へ通報する。(119)
4. 守衛室(内線2057、外線095-819-2057)、防災センター(内線3454、外線095-819-2860)へ連絡する。
5. 周囲の者が中心となり、初期消火が可能であれば試みる。
6. 負傷者、行方不明者の有無を確認し、救助可能なら救助する。
7. 負傷者(軽傷)がいる場合は、保健・医療推進センター(内線2213、外線095-819-2213)へ連絡する。(時間外は、大学病院高度救命救急センター(外線095-820-8699(夜間、休日))へ連絡する。)
8. 火災発生状況などを指導教員、コース長等へ連絡する。

9. 同様に事務部(内線3279、外線095-819-2489)へも連絡する。
10. 腰より火が高く上がっている場合や消火が不可能であれば、直ちに安全な場所へ避難する。避難時はエレベーターは使用しない。
11. 指導教員等は、コース長等及び学部長へ連絡する。
コース長等は、事務部(内線3279、外線095-819-2489)及び学部長へ連絡する。

注 意

- ・ 火災発生源より下の階へ避難し、最終的には建物の外へ。
- ・ ガスボンベの設置位置も考慮し、避難する。
- ・ 一度避難したら再び戻らない。

地震発生時

1. ガス及び高圧ボンベの元栓を閉め、火を消す。
2. 扉を開け、避難口を確保する。
3. ガラス窓付近の人は、離れる。
4. 机の下など安全な場所に避難し、ゆれが収まるのを待つ。
あわてて外に飛び出さない。
5. ゆれが収まったら、電気や消せなかった火を消す。ガスの元栓を閉める。火災発生の有無を確認し、グラウンドへ避難する。避難時はエレベーターは使用しない。
6. 避難後、余裕があれば負傷者の有無を確認し、救助できるならば救助に向かう。その際は、必ず2人一組で行動する。
7. 指導教員等、コース長等に負傷者、行方不明者などを連絡する。
8. 同様に事務部（内線3279、外線095-819-2489）へ連絡する。

ガス漏れ時

1. 使用中の火を消し、ガスの元栓を閉める。
2. 窓を開け、火の気を使わない。換気扇などの電気のスイッチに触らない。
3. なるべく新鮮な空気を吸うようにする。
4. 状況に応じて、業者へ連絡する。
(西部ガス長崎支社 095-826-9101)
5. 指導教員等、コース長等に報告する。
6. 事務部(内線3279、外線095-819-2489)へ連絡する。

負傷者が出た時

1. 応急処置を行う。
2. 状況に応じて、救急車(119)を呼ぶか、保健・医療推進センター(095-819-2213)へ連絡する。(時間外は、大学病院高度救命救急センター(095-820-8699)へ連絡する。)
3. 指導教員等、コース長等に報告する。
4. 事務部(内線3279、外線095-819-2489)へ連絡する。

AED設置場所

- ・ 守衛室 (受付)
- ・ 保健・医療推進センター
(玄関外)
- ・ 総合教育研究棟 (玄関外)
- ・ 環境科学部 (玄関ホール)
- ・ 総合体育館 (玄関ホール)
- ・ 文教おもやい保育園
(玄関内)
- ・ ダイバーシティ推進センター
(プレイルーム内)

毒劇物紛失時

1. 紛失発見者及び周辺の者は、紛失物を探索し、発見に努めると同時に、管理担当者、指導教員等、コース長等及び事務部(内線3279、外線095-819-2489)へ連絡する。
2. 管理担当者は、担当教授等へ、指導教員等はコース長等は事務部(内線3279、外線095-819-2489)へ連絡するとともにそれぞれが工学部長へ連絡する。
3. 探しても見つからない場合は、速やかに管理責任者である工学部長から警察署、消防署へ通報を行う。

大学付近の医療機関等

※市外局番(095)

こ う の 眼 科 844-2411

佐 藤 和 眼 科 844-9755

高 松 整 形 外 科 845-6239

野 田 形 成 外 科 847-0010

堀 皮 膚 科 843-8883

あきよし都美内科 845-9801

井 手 内 科 849-3115

大学病院高度救命救急センター 820-8699
(夜間、休日)

大学病院総合診療科 819-7544

聖フランシスコ病院 846-1888

長崎北徳洲会病院 857-3000

